

議案第 19 号

令和 2 年度宝塚市一般会計補正予算（第 13 号）

資料 1（266-282） 新型コロナウイルスワクチン接種事業について

1 目的

厚生労働省より、令和 2 年 10 月 23 日に「新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業実施要綱」が通知されたことに伴い、令和 2 年度中に新型コロナウイルスワクチンの市民への円滑な接種を実施するために必要な体制確保の必要が示された。当該体制確保に係る経費に必要な予算措置を行う。

2 予算

新型コロナウイルスワクチン接種事業費 400,299 千円（3 月補正措置）

一般財源より流用額 4,882 千円

※新型コロナウイルスワクチン接種事業へ充当

（内訳）別紙歳出予算内訳書のとおり

3 財源

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金 405,181 千円

（国庫補助率 10/10）

4 事業実施概要（令和 3 年 2 月 19 日時点）

（1）接種対象者：全住民

宝塚市人口 224,412 人（令和 2 年 11 月末現在）

（参考）65 歳以上 65,063 人

（2）実施方法：集団接種（4 か所予定） 個別接種（医師会と調整中）

（3）ワクチン：ファイザー社ワクチン

（4）接種スケジュール：①医療従事者 ②65 歳以上高齢者 ③高齢者施設等の従事者・高齢者以外の基礎疾患を有する者 ④それ以外の人で順次接種を進めます。

（5）コールセンター開設 2 月 22 日開設

（6）接種券発送時期 3 月下旬を想定（高齢者 65 歳以上を対象）

別紙（歳出予算内訳書）

1 歳出

400,299 千円

（報酬）

予防接種健康被害調査委員会報酬

委員長 @11,400×1人×10回=114,000円

医療機関医師@10,600×2人×10回=212,000円

知識経験者 @10,600×3人×10回=318,000円

計 644,000円

会計年度職員報酬

事務職8名雇用 6月分=6,673,920円≒6,674,000円

（職員手当）

職員手当

事務職8人=1,096,480円≒1,097,000円

（共済費）

社会保険料

（職員報酬+職員手当+交通）×15.715%=1,314,246円≒1,315,000円

（旅費）

会計年度職員交通費

8人 6月分=591,360円≒592,000円

（需用費）

ガソリン代

月@3,000×6月×3台=54,000円

印刷製本費

・予診票 3,642,100円

・チラシ・広告ポスター等

A4チラシ@2.6×30,000部×1.1税=85,800円

B3ポスター @165×200部×1.1税=36,300円

計 3,764,200円≒3,765,000円

（役務費）

郵便料

・接種券 11,809,064円

・予約者事前通知 6,424,000円

・その他通知 11,809,064円

計 30,042,128円≒30,043,000円

電信電話料

・コールセンター通話料 236,280円 (①)

・Wi-Fi使用料 776,160円 (②)

① +②計 1,012,440円≒1,013,000円

ワクチン運搬費

1日@7,500×22日×6月×1.1税=1,089,000円

広報臨時号広告料

広報臨時号@1,200,000×2回=2,400,000円

手数料

・国保連合会支払手数料

@300×16,380人(総人口234,000人×市外接種率7%)=4,914,000円

7%:令和元年度高齢者等インフルエンザワクチン接種者数より算出

・薬剤管理委託料

基本型医療機関:月@150,000×10医療機関×6月=9,000,000円

サテライト型医療機関:月@100,000×95医療機関×6月=57,000,000円

小計 66,000,000円

計 70,914,000円

(委託料)

コールセンター業務委託料

運営に関する調整、FAQ作成、コールセンター従事者への研修、問合せの電話・窓口対応、接種予約受付、接種結果登録、集団接種にかかる人材派遣

278,252,000円

(使用料及び借上料)

駐車場代

@400×6H×22日×6月=316,800円≒317,000円

車両借上料

月@100,000×6月×3台=1,800,000円

(備品購入費)

備品購入費

タブレット@50,000×1.1税×6台(2事務所・4会場)=330,000円

---

令和2年度健康推進課一般財源より流用分

計 4,882,000円

(1) 印刷製本費

・予診票印刷 1,441,000円

・事前通知用窓あき封筒 528,000円

計 1,969,000円

(2) 衛生資材 2,333,000円

(3) コールセンター電話設置工事費 500,000円

(4) コールセンター通話料 50,000円

(5) 駐車場代 30,000円

---

歳入  
(財源内訳) 405,181 千円

- (1) 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金  
歳出(1)から(16)及び、R2当初予算より流用相当分4,882千円  
(補助率 事業費総額477,801千円の範囲)  
(※R2専決処分にて72,620千円を予算措置済み)

## 今回の補正予算の規模

1	歳出	108,770千円
(1)	システム改修費	3,069,000円
	ア 健康管理システム改修業務	1,518,000円
	イ ウェブ予約システムの改修費	1,551,000円
(2)	新型コロナウイルスワクチン接種券作成費	36,769,000円
	委託料 印刷、封入封緘、データ基本処理料金等	
	ア 令和2年度発送（高齢者）	10,291,600円
	イ 令和3年度発送（高齢者以外）	26,477,000円
	ウ 計	36,768,600円≒36,769,000円
(3)	接種券郵送料 高齢者@73×65,500名	4,782,000円
(4)	コールセンター業務委託料	28,000,000円
	運営に関する調整、FAQ作成、コールセンター従事者への研修、問合せの電話・窓口対応、接種予約受付、接種結果登録、集団接種にかかる人材派遣	
(5)	集団接種会場費	885,000円
	公民館・民間施設等	1か月分 = 885,000円
(6)	集団接種医師・看護師出務委託料	7,394,000円
	ア 医師 30,100円/日×3名×10日×4会場=3,612,000円	
	イ 看護師 15,758円/日×6名×10日×4会場=3,781,920円	
(7)	医療従事者個別接種委託料	27,871,000円
	住基人口（令和2年11月末時点）224,412名×3%（国試算）≒6,732名	
	接種率100% 6,732×100%=6,732人	
	接種単価2,070円×6,732人×2回=27,870,480円≒27,871,000円	
2	歳入	108,770千円
(1)	(1) から (4)	72,620千円
	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 補助率 国10/10	
(2)	(5) から (7)	36,150千円
	集団接種 2,070円×100人×10日×4会場=4,000回	
	=8,280,000円	
	医療従事者個別接種 2,070円×6,732人×2回=27,870,480円	
	計	36,150,480≒36,150,000円

## 3 その他の費用

令和3年度の接種券郵送料、コールセンター業務、ワクチン接種にかかる費用（集団接種会場費、医師・看護師出務料、個別接種委託料）等については、国庫補助事業の内容が明らかになった段階で改めて措置する。